

交通事故防止だけではない …

よく見える衣類

災害避難・救助でも注目を集める 高視認性安全服

◎ 歩行者など一般利用者向けの 帽子・かばん民間規格が制定されました ◎

『高視認性安全服』 - 2015年のJIS規格制定で普及進む

2015年10月、JIS T 8127 高視認性安全服が定められました。道路作業用衣類のための規格です。“ドライバーからよく見える衣類”の着用によって、作業事故削減と交通事故予防の発想に基づく、日本で初めての公的規格です。高視認性安全服は、「反射材」と「蛍光生地」を組み合わせることで、視認性を高めています。

JIS制定受け デザインの融通さく民間規格が次々登場 - 帽子類・かばん類の新規格も -

そしてこの間、交通事故防止を目的とした民間団体が、JIS T 8127 を参考にして、歩行者などの一般利用者や子ども向けの新たな高視認性安全服規格を制定しています。作業向けの JIS T 8127 に比べ、デザイン性の高い安全服を作りやすい規格である点が大きな特徴です。安全性とファッション性両立の可能性が見えます。衣類だけではなく関連アイテムの規格も順次整備されており、帽子・かばんの分野では、子ども用に続き9月20日に歩行者などの一般利用者の規格が制定されました。



日本交通安全普及協会の最新規格に準じたかばんと帽子。次ページに、現在ある民間規格一覧表を掲載しています

災害時の避難・救助分野でも高視認性安全服に注目

交通事故防止を目的とした、“よく見える衣類”。さらに自治体では、災害現場での高視認性の機能に注目し始めています。避難する方、救助活動をする方、双方の着用によって、お互いに自分の存在をより周囲に気付いてもらう効果があるからです。例えば、救助を求める被災者が高視認性の衣類を着用していれば、日中・夜間を問わず発見される確率が高くなります。

ご存じの通り、異常気象による大きな自然災害が日本だけでなく、世界中で頻発しています。防災の観点から、民間団体規格に沿った高視認性安全服作りが今後進むことが期待されます。

本件に関するお問合せ先 — お問合せをお待ちしております

ニッセンケン 防災・安全評価グループでは、人命を守る高視認性安全服の視認性試験全般及び、規格内容や認証取得についてのご相談をお受けしています。お気軽にご連絡ください。

● 防災・安全評価グループ

【東京】Tel: 03-5875-6055 〒124-0012 東京都葛飾区立石4-2-8 (bosai_anzen@nissenken.or.jp)

【大阪】Tel: 06-6957-1101 〒535-0022 大阪府大阪市旭区新森1-5-20 (bosai_anzen@nissenken.or.jp)

JIS T 8127をベースにした 高視認性安全服等の民間規格一覧 ※ 規格番号をクリックすると詳細な内容が表示されます (外部リンク)

規格制定団体	アイテム	想定する着用者,使用者					規格番号
		作業者	歩行者など 一般利用全般	子ども 歩行・通学	自転車運転者 全般	子ども 自転車通学等	
JSAA	衣 類	●	●	●	●	●	JSAA 2001
		●	●				
JATRAS	衣 類			●			JATRAS 001
						●	JATRAS 002
	ランドセルカバー					●	JATRAS 301
	ランドセル 付属ポーチ					●	
	ランドセル 肩ひも用パッド					●	
	レインウェア					●	
	かばん類		● NEW!	●		●	JATRAS 311
	帽子類				●		●
		● NEW!		●		●	JATRAS 512

ポイント解説 一



◎JSAA = 公益社団法人 日本保安用品協会 URL : <http://jsaa.or.jp/>

JATRAS = 一般財団法人 日本交通安全教育普及協会 URL : <http://www.jatras.or.jp/>

◎アイテムごとに、反射材の反射性能及び使用面積、蛍光生地の色合い及び使用面積が定められています。

◎ニッセンケンは、JSAA 及び JATRAS 各規格の認定試験機関になっています。